



Hewlett Packard
Enterprise

HPE Intelligent Provisioning 2.40 リ リースノート

部品番号: 794361-196
2016年4月
第1版

© Copyright 2012, 2016 Hewlett Packard Enterprise Development LP

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ（Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items）は、ベンダー標準の商業用使用許諾のもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise 製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

商標

Linux® は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

Microsoft®, Windows®, Hyper-V Server®, および Windows Server® は、Microsoft Corporation の商標です。

Red Hat® は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. の商標または登録商標です。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で使用される場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に掲載されている製品情報には、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

バージョン :

2.40

説明

Intelligent Provisioning は、すべての ProLiant Gen9 サーバーに内蔵されている、ウィザード形式のフォーマットでオペレーティングシステムに必要なほとんどのドライバーを提供し、オペレーティングシステムのインストールを行うサーバー単独の展開ツールです。

Intelligent Provisioning は、前の世代の ProLiant サーバーで使用されていた SmartStart CD および Smart Update Firmware DVD に代わる機能で、これらの CD/DVD をベースにして改善が加えられています。

このリリースノートでは、サポート情報、拡張機能、および既知の問題と解決方法など、このリリースの Intelligent Provisioning に関する情報を提供します。

Intelligent Provisioning のユーザードキュメントは、Intelligent Provisioning Information Library (<http://www.hpe.com/info/intelligentprovisioning/docs>) から入手できます。

置き換えられるバージョン

2.30

製品モデル

Intelligent Provisioning の現在のリリースでは、ProLiant Gen9 サーバーをサポートしています。サポートされるサーバーの完全なリストについては、『Intelligent Provisioning Server Support Guide』（英語）を参照してください。

① 重要:

- ProLiant ML10 Gen9 サーバーおよび ProLiant ML10 v2 サーバーは、Intelligent Provisioning をサポートしていません。これらのサーバーでの OS のインストールについては、各サーバーのドキュメントを参照してください。
- ProLiant SL、SE、および XL サーバー（HP ProLiant XL420 Gen9 サーバーを除く）は、Intelligent Provisioning によるオペレーティングシステムのインストールをサポートしませんが、ProLiant Gen9 サーバー用の Intelligent Provisioning のユーザーガイド、およびオンラインヘルプの「メンテナンスの実行」の項に記載されているメンテナンス機能はサポートしています。

オペレーティングシステムおよびデバイス

注記: サーバーでサポートされるすべてのオペレーティングシステムが Intelligent Provisioning でサポートされるわけではありません（32ビットの Windows オペレーティングシステムはサポートされません）。32ビットのオペレーティングシステムをインストールする必要がある場合は、ドライバー & ダウンロードページ (<http://www.hpe.com/jp/support>) でドライバーをサーバーモデルで検索してダウンロードしてください。

Intelligent Provisioning での使用がサポートされているオペレーティングシステムは、次のとおりです。

- Microsoft Windows Server 2012 R2
- Microsoft Windows Server 2012
- Windows Server 2008 R2 SP1
- Red Hat Enterprise Linux 7.1、7.0、6.7、および 6.6
- SUSE Linux Enterprise Server 12、11 SP4、および 11 SP3

- VMware ESXi 5.5 Update 3、5.5 Update 2、vSphere 6.0 Update 1、vSphere 6.0 Update 2、および ESXi 5.1 Update 3

| SL 番号 | OS | サポートされるモード | | | インストールタイプ | | | USB（推奨およびカスタムインストールのみ） |
|-------|---------------------|------------|--------|---------|-----------|------|----|------------------------|
| | | UEFI | Legacy | セキュアブート | 推奨 | カスタム | 手動 | |
| 1 | Windows 2012 R2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2 | Windows 2012 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 3 | Windows 2008 R2 SP1 | ○ | ○ | NA | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 4 | RHEL 6.6 64 ビット | ○ | ○ | NA | ○ | NA | ○ | NA |
| 5 | RHEL 6.7 64 ビット | ○ | ○ | NA | ○ | NA | ○ | NA |
| 6 | RHEL 7.0 64 ビット | ○ | ○ | NA | ○ | NA | ○ | NA |
| 7 | RHEL 7.1 64 ビット | ○ | ○ | NA | ○ | NA | ○ | NA |
| 8 | SLES 11 SP3 64 ビット | ○ | ○ | NA | ○ | NA | ○ | NA |
| 9 | SLES 11 SP4 64 ビット | ○ | ○ | NA | ○ | NA | ○ | NA |
| 10 | SLES 12 64 ビット | ○ | NA | NA | ○ | NA | ○ | NA |
| 11 | VMware ESXi 5.1 U3 | ○ | ○ | NA | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 12 | VMware ESXi 5.5 U3 | ○ | ○ | NA | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 13 | vSphere 6.0 U1 | ○ | ○ | NA | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 14 | vSphere 6.0 U2 | ○ | ○ | NA | ○ | ○ | ○ | ○ |

Intelligent Provisioning での使用がサポートされている SD（Security Digital）カードは、次のとおりです。

| SL 番号 | OS | サポートされるモデル | | インストールタイプ | | | サポートされる SD カード |
|-------|---------------------|------------|--------|-----------|------|----|-----------------------------------------|
| | | UEFI | Legacy | 推奨 | カスタム | 手動 | |
| 1 | Windows 2012 R2 | ○ | NA | ○ | ○ | NA | 32 GB （部品番号 - 700139-B21、700136-B21） |
| 2 | Windows 2012 | ○ | NA | ○ | ○ | NA | 32 GB （部品番号 - 700139-B21、700136-B21） |
| 3 | Windows 2008 R2 SP1 | ○ | NA | ○ | ○ | NA | 32 GB |

| SL 番号 | OS | サポートされるモデル | | インストールタイプ | | | サポートされる SD カード |
|-------|--------------------|------------|--------|-----------|------|----|-----------------------------------------|
| | | UEFI | Legacy | 推奨 | カスタム | 手動 | |
| | | | | | | | (部品番号 - 700139-B21、700136-B21) |
| 4 | RHEL 6.6 64 ビット | ○ | NA | ○ | NA | ○ | 32 GB (部品番号 - 700139-B21、700136-B21) |
| 5 | RHEL 6.7 64 ビット | ○ | NA | ○ | NA | ○ | 32 GB (部品番号 - 700139-B21、700136-B21) |
| 6 | RHEL 7.0 64 ビット | ○ | NA | ○ | NA | ○ | 32 GB (部品番号 - 700139-B21、700136-B21) |
| 7 | RHEL 7.1 64 ビット | ○ | NA | ○ | NA | ○ | 32 GB (部品番号 - 700139-B21、700136-B21) |
| 8 | SLES 11 SP3 64 ビット | ○ | NA | ○ | NA | ○ | 32 GB (部品番号 - 700139-B21、700136-B21) |
| 9 | SLES 11 SP4 64 ビット | ○ | NA | ○ | NA | ○ | 32 GB (部品番号 - 700139-B21、700136-B21) |
| 10 | SLES 12 64 ビット | ○ | NA | ○ | NA | ○ | 32 GB (部品番号 - 700139-B21、700136-B21) |

次の表は、Intelligent Provisioning を使用する場合に iSCSI がどの OS でサポートされているかを示します。

| SL 番号 | OS | サポートされるモデル | | インストールタイプ | | |
|-------|---------------------|------------|--------|-----------|------|----|
| | | UEFI | Legacy | 推奨 | カスタム | 手動 |
| 1 | Windows 2012 R2 | ○ | ○ | ○ | ○ | NA |
| 2 | Windows 2012 | ○ | ○ | ○ | ○ | NA |
| 3 | Windows 2008 R2 SP1 | ○ | ○ | ○ | ○ | NA |
| 4 | RHEL 6.6 64 ビット | ○ | ○ | ○ | NA | ○ |
| 5 | RHEL 6.7 64 ビット | ○ | ○ | ○ | NA | ○ |
| 6 | RHEL 7.0 64 ビット | ○ | ○ | ○ | NA | ○ |

| SL 番号 | OS | サポートされるモデル | | インストールタイプ | | |
|-------|--------------------|------------|--------|-----------|------|----|
| | | UEFI | Legacy | 推奨 | カスタム | 手動 |
| 7 | RHEL 7.1 64 ビット | ○ | ○ | ○ | NA | ○ |
| 8 | SLES 11 SP3 64 ビット | ○ | ○ | ○ | NA | ○ |
| 9 | SLES 11 SP4 64 ビット | ○ | ○ | ○ | NA | ○ |
| 10 | SLES 12 64 ビット | ○ | NA | ○ | NA | ○ |
| 11 | VMware ESXi 5.1 U3 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 12 | VMware ESXi 5.5 U3 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 13 | vSphere 6.0 U1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 14 | vSphere 6.0 U2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

次の表は、Intelligent Provisioning を使用する場合に FC がどの OS でサポートされているかを示します。

| SL 番号 | OS | サポートされるモデル | | インストールタイプ | | |
|-------|---------------------|------------|--------|-----------|------|----|
| | | UEFI | Legacy | 推奨 | カスタム | 手動 |
| 1 | Windows 2012 R2 | ○ | ○ | NA | NA | NA |
| 2 | Windows 2012 | ○ | ○ | NA | NA | NA |
| 3 | Windows 2008 R2 SP1 | ○ | ○ | NA | NA | NA |
| 4 | RHEL 6.6 64 ビット | ○ | ○ | ○ | NA | ○ |
| 5 | RHEL 6.7 64 ビット | ○ | ○ | ○ | NA | ○ |
| 6 | RHEL 7.0 64 ビット | ○ | ○ | ○ | NA | ○ |
| 7 | RHEL 7.1 64 ビット | ○ | ○ | ○ | NA | ○ |
| 8 | SLES 11 SP3 64 ビット | ○ | ○ | ○ | NA | ○ |
| 9 | SLES 11 SP4 64 ビット | ○ | ○ | ○ | NA | ○ |
| 10 | SLES 12 64 ビット | ○ | NA | ○ | NA | ○ |
| 11 | VMware ESXi 5.1 U3 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 12 | VMware ESXi 5.5 U3 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 13 | vSphere 6.0 U1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 14 | vSphere 6.0 U2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

サポートされるサーバー、ファームウェア、ソフトウェア、およびドライババージョンについては、Intelligent Provisioning Information Library (<http://www.hpe.com/info/intelligentprovisioning/docs>) で入手できる『Intelligent Provisioning Server Support Guide』を参照してください。

Intelligent Provisioning、SPP、および iLO の間の関係

| Intelligent Provisioning のバージョン | SPP リリースセット | iLO のバージョン |
|----------------------------------|---------------|------------|
| HP Intelligent Provisioning 2.10 | SPP 2014.09.0 | iLO 2.10 |
| HP Intelligent Provisioning 2.20 | SPP 2015.06.0 | iLO 2.22 |
| HP Intelligent Provisioning 2.30 | SPP 2015.10.0 | iLO 2.30 |
| HP Intelligent Provisioning 2.40 | SPP 2016.04.0 | iLO 2.40 |

問題の修正

- [Intelligent Provisioning 環境設定] ページで EULA に同意する際、「ネットワークを初期化中」というメッセージが表示されてプロセスが停止する問題はなくなりました。
- AHS 情報を抽出する際、連絡先情報が含まれていると抽出に失敗する問題はなくなりました。
- [iLO の構成] の [管理] ページの [SNMP ポート] リンクは、動作するようになりました。
- いくつかの SUSE Linux Enterprise Server のインストールの問題が解決されています。

インストール手順

ProLiant Gen9 サーバーには、ファームウェアコンポーネントとオペレーティングシステムコンポーネントがプリロードされています。これらのコンポーネントは、Intelligent Provisioning を使ってインストールします。一旦サーバーを稼働させた後は、Intelligent Provisioning の [ファームウェアの更新] を使用して、サーバーを製造してからすでに古くなったコンポーネントをアップデートしてください。

注記: [ファームウェアの更新] を使用するときには、コンポーネントの **インストール済みバージョン** (ファームウェアの更新画面の左側に表示) が、画面の右側に示されているバージョンよりも新しいことを確認してください。インストール済みバージョンのほうが新しい場合は、コンポーネントのチェックボックスをオフにします。

アップデート方法については、Intelligent Provisioning のユーザーガイドを参照してください。Intelligent Provisioning の Web サイト (<http://www.hpe.com/jp/intelligentprovisioning>) から最新の Intelligent Provisioning の ISO をダウンロードできます。

既知の問題と推奨処置

このドキュメントに記載されている解決方法を適用し、問題を解決することをおすすめします。誤った操作を行うと、ProLiant サーバーの操作と機能が正常に動作なくなることがあります。新しい問題が発見されるか、既知の問題が解決されると、このリストは更新されます。

インストールの問題

- **問題：**CD/DVD のソースで作成した起動可能な USB キーを使用して Intelligent Provisioning をインストールしようとする、一時的にエラーメッセージ `ERROR: BLOB_OP_CREATE failed! errorcode 1 expected!` が画面に表示されます。
推奨される操作：メッセージを無視して、インストールを続行します。

操作上の問題

- **問題：**電子メールアドレスを HP パスポートユーザー ID として入力すると、その電子メールアドレスが HP パスポート登録プロセス中に使用した HP パスポートユーザー ID の場合でも、ダイレクト接続登録中に機能しない可能性があります。
推奨される操作：お客様の Hewlett Packard Enterprise サポートセンター (HPESC) のユーザー ID を変更した場合、電子メールアドレスは機能しなくなります。お客様の電子メールアドレスではなく、お客様のユーザー ID を入力します。
- **問題：**新しいプラットフォームに追加されたアドバンスドブート方式が原因で、UEFI またはレガシ BIOS ブートモードを使用する場合に、インストールの **[ハードウェアの設定]** ページの **[ターゲットコントローラー]** 選択フィールドの効果がありません。
推奨される操作：マルチコントローラーシステムで、ターゲットコントローラーが正しいコントローラーでない場合は、不要なボードを無効にして、正しいデバイスを使用してインストールを進めるようにします。
- **問題：**共有 iLO ポートを使用しているシステムでは、**[Intelligent Provisioning 環境設定]** の iLO 静的 IPv4 または DHCP の設定を変更した場合、iLO のネットワーク設定が変更されず、専用 iLO ポートの設定が強制的に適用されてしまいます。このため、iLO にリモートアクセスできません。
推奨される操作：iLO の静的 IPv4 または DHCP ネットワーク設定の変更には、iLO GUI を使用するかまたは UEFI セットアップで iLO の構成メニューを使用します。
- **問題：**VSA をインストールした後、VSA に ping を送信できません。
推奨される操作：この問題の原因として、ネットワーク構成が考えられます。ネットワーク接続が正しく構成されていることと、VSA が接続されている仮想スイッチで使用されているアップリンクアダプターが稼働していることを確認します。
- **問題：**VSA のインストールが失敗します。
推奨される操作：プロキシサーバーを使用している場合は、プロキシ設定の誤りがインストールの失敗の原因になっている可能性があります。プロキシの設定に、適切なプロトコル (ftp、http、または https) が含まれていることを確認してください。適切なプロトコルが含まれていない場合、VSA のインストールが失敗する可能性があります。
- **問題：**VSA のインストール時に、前の画面や次の画面に移動すると、選択したはずの連絡先情報ページの **[HP からの新製品情報...]** オプションの選択が取り消されます。
推奨される操作：必要に応じて、**[HP からの新製品情報...]** オプションを選択しなおします。
- **問題：**HPE Remote Support にプロキシサーバーを使用して登録しようとする、登録が失敗して「Invalid Proxy Credentials」というエラーメッセージが表示されます。
推奨される操作：Remote Support の登録時に、プロキシサーバーを使用しないでください。
- **問題：**レガシ BIOS ブートモードで動作している SATA RAID をサポートするシステムから、Intelligent Provisioning のメンテナンスで HPE SSA にアクセスできません。
推奨される操作：レガシ BIOS ブートモードの HPE SSA にアクセスするには、SATA コントローラー (UEF システムユーティリティ内) を Dynamic Smart アレイモードから SATA AHCI モードに切り替えてください。Dynamic Smart アレイ (B140i) は UEFI ブートモードでのみ動作します。

- 問題：**システムをブートして OS セットアップを完了することができません。画面に、使用可能なブートデバイスが見つからず再起動するというメッセージが表示されます。

推奨される操作：これはサポートされていないオプションカードを、UEFI ブートモードの ProLiant Gen9 サーバーでブートコントローラーとして使用している場合に発生します。オプションカードを UEFI ブートモードをサポートしているサポートデバイスと交換します。
- 問題：**DVD を使用して SATA RAID システムで Intelligent Provisioning 2.40 に更新しようとするエラーが発生します。

推奨される操作：iLO 仮想 DVD または USB フラッシュドライブを使用して Intelligent Provisioning をアップグレードしてください。
- 問題：**HP StoreFabric SN1100Q 16 GB 2 ポートファイバーチャネルのホストバスアダプターカードおよび HP StoreFabric 84Q 8 GB 4 ポートファイバーチャネルのホストバスアダプターカードは、[Intelligent Provisioning 環境設定] ページで検出されません。

推奨される操作：Intelligent Provisioning 以外のインストール方法を使用してオペレーティングシステムをインストールする必要があります。

ユーザーインターフェイスの問題

- 問題：**システムブートモード（UEFI またはレガシ）への変更がすぐに行われません。

推奨される操作：これは通常の動作です。システムブートモード（UEFI またはレガシ）の変更は、OS インストールプロセス中または次の POST の中で行われます。
- 問題：**英語以外の言語にローカライズされた（イタリア語またはスペイン語など）OS 確認ページには、英語の内容が含まれることがあります。

推奨される操作：ありません。
- 問題：**Windows Hyper-V 2012 R2 の推奨インストールを実行すると、[OS の情報] ページの [オペレーティングシステムファミリ] 名と [オペレーティングシステム] バージョンが、[レビュー] ページの [OS ファミリおよびバージョン] 設定と異なります。

推奨される操作：OS 名の違いを無視して、インストールを続行します。
- 問題：**[iLO] ページと [iLO 設定ユーティリティ] ページの NIC の設定が一致しません。[iLO] ページの [Use Shared Network Port] のチェックボックスは選択されていますが、[iLO 設定ユーティリティ] ページの [iLO 専用ネットワークポートを使用] のチェックボックスが選択されていません。

推奨される操作：ネットワーク設定の違いを無視して、インストールを続行します。
- 問題：**[iLO] ページから取得される AHS ログと iLO 構成ユーティリティのログでは、ログのサイズが一致しません。

推奨される操作：[iLO] ページから取得される AHS ログを信頼して使用します。

Windows 固有の問題

- 問題：**Windows を UEFI ブートモードで手動インストールする場合、DVD からのインストールは自動では開始されません。

推奨される操作：プロンプトが表示されたら、任意のキーを押して DVD から起動します。
- 問題：**Windows を複数のコントローラーシステムでインストールする際、Intelligent Provisioning および UEFI 構成のとおり、要求したコントローラーブート順序でインストールが行われない場合があります。

推奨される操作：非ブートコントローラーを切断または無効にして、インストールですべての OS ファイルが正しいドライブ上で処理されるようにしてください。

- 問題：**Windows のインストール時に、0 MB パーティションのエラーが OS 情報ページに表示されます。

推奨される操作：ありません。このエラーを無視して、インストールを続行してください。
- 問題：**ファイルを HDD にコピーした後、Windows 2008 R2 SP1 の自動インストールを実行しようとする、システムが再起動し、エラーメッセージ An internal error occurred が表示され、インストールが失敗します。

推奨される操作：SATA コントローラーまたは B140i コントローラー用のドライバーに問題があります。他のコントローラーで OS をインストールしてください。
- 問題：**FC 構成のサーバーで Windows の手動/推奨インストールまたはカスタムインストールを実行しようとする、OS のインストールが失敗します。

推奨される操作：FC ドライバーは使用できません。Intelligent Provisioning は、FC 構成のサーバーで OS のインストールに使用できません。
- 問題：**FCoE 構成のサーバーで Windows 2008 R2 SP1 の手動インストールが失敗します。

推奨される操作：FCoE カードでの Windows 2008 R2 SP1 の手動インストールは、そのメディアに追加ソフトウェアが必要なため、サポートされていません。代わりに、自動インストールを使用する必要があります。

Linux 固有の問題

- 問題：**異なる 2 つのコントローラーカードを装着する Linux インストールを実行する場合、起動するカードを選択できません。

推奨される操作：2 つのコントローラーカードを装着すると、レガシ BIOS モードでブート順序が一致しない原因となります。Intelligent Provisioning のインストールプロセスを開始する前に、ブートデバイス以外のすべてのコントローラーを一時的に無効にしてください。
- 問題：**Red Hat Enterprise Linux 7.0 をインストールするときに、NIC ケーブルが接続されていない場合、インストールが失敗します。

推奨される操作：インストール中は、常にケーブルを NIC に接続したままにしてください。ネットワークが使用可能でない場合は、Intelligent Provisioning を使用せずに、OS インストールメディアから Red Hat Enterprise Linux 7.0 をインストールします。
- 問題：**GRUB ブートローダーで Intelligent Provisioning を使用して、CSM モードの Linux を SD カードに展開できません。

推奨される操作：オペレーティングシステムを手動でインストールします。
- 問題：**レガシ BIOS モードで [手動] インストールオプションを使用すると、Red Hat Enterprise Linux 7.0 をインストールできません。

推奨される操作：[手動] の代わりに [推奨] インストールオプションを使用してください。
- 問題：**Red Hat Enterprise Linux の推奨インストールを実行する場合、インストールの開始時に [Ethernet] オプションを手動で選択しないと先に進めません。インストールプロセスは、ユーザーの介入なしに続行する必要があります。

推奨される操作：インストールプロセスがユーザー入力のために一時停止する場合は、手動で [Ethernet] オプションを選択します。
- 問題：**B140i コントローラーを使用して Red Hat Enterprise Linux 7.2 をインストールすると、**[Installation summary]** ページでインストールが停止し、**[No disks selected]** が **[Installation destination]** に記載されていることを示す警告メッセージが表示されます。

推奨される操作：Intelligent Provisioning は B140i コントローラーではサポートされません。
- 問題：**DVD を使用してレガシモードで Red Hat Enterprise Linux 7.2 を手動インストールすると、**[Installation summary]** ページでインストールが停止し、**[Automatic partitioning]**

selected] が **[Installation destination]** に記載されていることを示す警告メッセージが表示されます。

推奨される操作：可能であれば UEFI ブートモードを使用するか、以下の手順の回避策を実行してください。

1. **[Installation Summary]** ページで **[Installation destination]** をクリックします。
 2. **[Other Storage Options]** の下にある **[I would like to make additional space available]** を選択します。
 3. **[Delete all]** をクリックします。
 4. **[Reclaim space]** をクリックします。
 5. **[完了]** をクリックします。**[Installation Summary]** ページが表示されます。
 6. 必要な設定変更をすべて行って、**[Begin Installation]** をクリックします。
- **問題**：Intelligent Provisioning が動作する ProLiant サーバーでは、SD メディアカードで SUSE Linux Enterprise 11 Service Pack 4 (SLES11 SP4) をインストールできません。インストールはパーティション構成のエラーで停止し、次に進みません。
推奨される操作：回避策として、SD メディアカードのインストーラーを使用して、SUSE Linux Enterprise 11 SP4 を DVD から直接インストールしてください。
 - **問題**：セキュアブートが選択されていると、Linux ファミリオプションが **[OS ファミリ]** リストで使用できません。
推奨される操作：Linux をインストールする場合、セキュアブートはサポートされていません。

VMware 固有の問題

- **問題**：VMware がコントローラーの順序に従わない場合があります。
推奨される操作：複数のコントローラーシステムにインストールするときは、初期セットアップ中に、非ブートコントローラーを取り外して OS ファイルがコピーされないようにする必要があります。
- **問題**：7文字のパスワードが入力されると、警告メッセージ `Password must be at least 7 characters` が画面に表示されます。
推奨される操作：警告メッセージを無視して、インストールを続行します。